

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成21年10月26日（月）～11月1日（日）〔平成21年第44週〕の感染症発生状況

第44週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎となっています。インフルエンザは、定点あたり34.17と前週より更に報告数が増加し、今年度の最高値を更新、インフルエンザの流行発生警報基準値（定点当り30）を超えたため、川崎市内にインフルエンザ流行発生警報を発令しました。麻しんの発生が1件（感染原因：不明、推定感染地域：川崎市内）がありました。

インフルエンザ流行発生警報発令！！

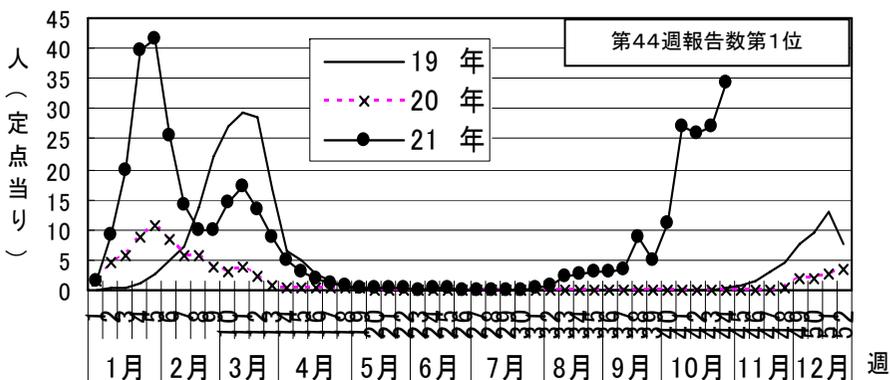
第44週はインフルエンザの発生報告が増加し、流行発生警報基準値の定点当り30を超えました。これは、まさに大きな流行に入ったことを意味しています。今後は今まで以上に、次の予防対策を徹底し、インフルエンザに負けないようにしましょう。

インフルエンザにかからないために気をつけたいこと

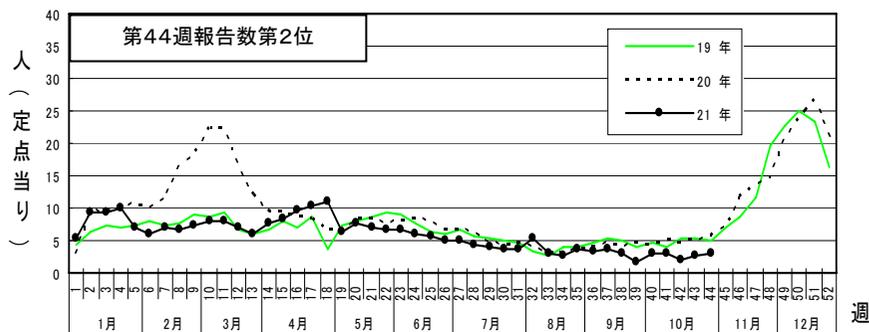
- ①外出から帰ったら手を洗い、うがいをしましょう。
- ②外出する時は、マスクを着用しましょう。
- ③不必要な外出はやめて、できるだけ人ごみを避けましょう。
- ④加湿をしましょう。
- ⑤十分な休養とバランスの良い食事をとり、健康管理に気をつけましょう。



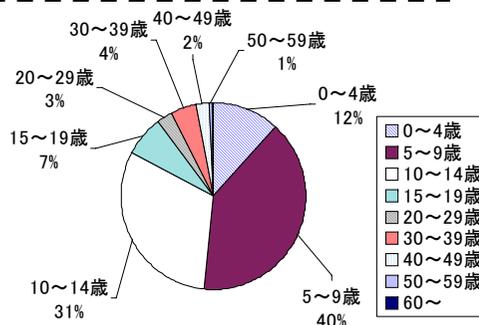
インフルエンザ発生状況（3年間）



感染性胃腸炎発生状況（3年間）



第44週インフルエンザ年齢別割合



年齢別の患者数では、5～9歳までが最も多く40%となり、9歳以下が全体の約52%を占めています。

症状が軽い場合は、医師や看護師の体制が揃っている日中の間に、「かかりつけ医」や最寄りの診療所に受診するようにしましょう。

ただし、小さなお子さんで、けいれんやいつもと違う言動など、脳症を疑う症状や成人を含めて、肺炎が疑われる息苦しい症状等が見られる場合はすぐに受診しましょう。